

1) システムの名称 :

SBS DoctorX Series / PrimeOrder (ドクターエックスシリーズ / プライムオーダ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

1. オーダエントリ系

3) 特色 :

■標準化対応

標準マスター/コード及び「HL7」、「IHE-J」の標準的情報交換規約を採用し、今後一層進んでいく医療情報の標準化や地域医療連携の発展に柔軟に適応できます。また、SS-MIXに準拠した形式での紹介状 CD 出力機能を標準搭載しており、地域医療連携を見据えた設計となっています。

■高速レスポンス

アプリケーションやデータベース構造を「参照したい情報に、いかに効率よく到達できるか」に重点を置いて設計しました。また、部門システムとの連携処理に対策を施し、さらにユーザインターフェースと操作性において使いやすさを追求しました。これらにより、レスポンスの高速化を実現しています。

■医師の思考に沿った操作性を実現

入力元となる医師の操作性を考え、システムとして機能するすべての操作性・画面レイアウトを統一することにより、入力者にストレスを感じさせず患者様と向かい合える診療を実現しています。Windows 製品の使用経験があるユーザーであれば違和感なく操作でき、触ったその日から入力できるやさしいシステムです。

■オーダの入力も簡単に

例えば薬品の入力をする場合には、頭の数文字を入力するだけで、和名、英名、商品名、頻用薬も即座に検索することができます。また、検査系の項目選択画面は、操作性・画面レイアウトを統一しました。OMR 伝票イメージを採用することで、見やすく、直感的な項目選択が可能になります。さらに文字サイズ・色・表示位置等も、マスター設定により自由なカスタマイズが可能です。

■患者の待ち時間の解消

システムに関する予約業務の時間を短縮することで、患者様の「待ち時間の解消」を実現し、患者様のストレス、不安を解消します。同時に操作者はシステムの操作によるストレスから解消され、より多くの時間を患者様と向き合う診療に利用することができます。

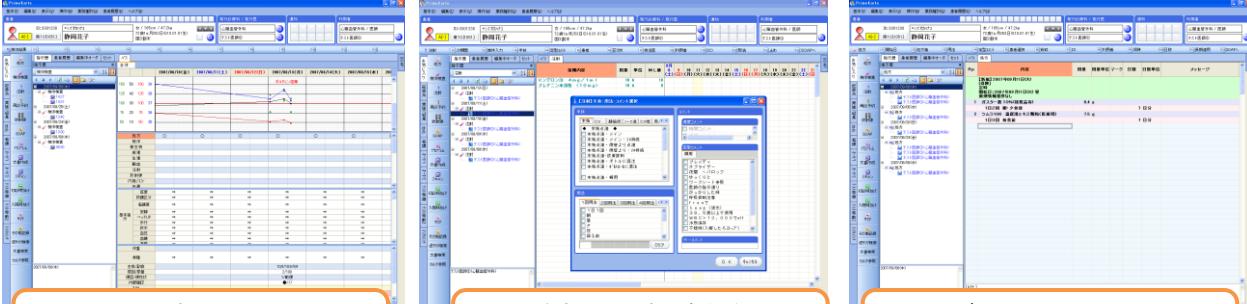
■様々なオーダに対応 - 豊富なオーダ種

基本オーダの処方から外来系・病棟系に関わるあらゆるオーダを揃えたフルオーダエントリシステムです。また予算に応じて導入オーダ種の選択ができ、そして各種オーダを部品化する事により、既存のオーダ種の上に新たなオーダ種が上乗せ可能なアドオン方式を実現し、段階的なオーダエントリ構築を実現しました。

■業務の効率化

診療ガイドラインやクリニカルパス等、医療プロセスの標準化・再設計を通して業務の効率化を実現します。

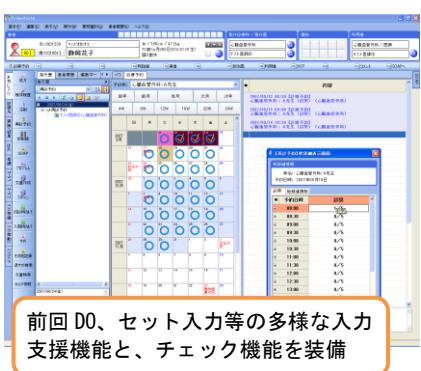
4) 画面/構成図を含めた分かりやすい説明 :



分かりやすい画面によりスピーディな入力を実現

診療履歴の表示条件を医師ごとに設定可能

オーダエントリのメニューは段階的レベルアップが可能



前回 D0、セット入力等の多様な入力支援機能と、チェック機能を装備

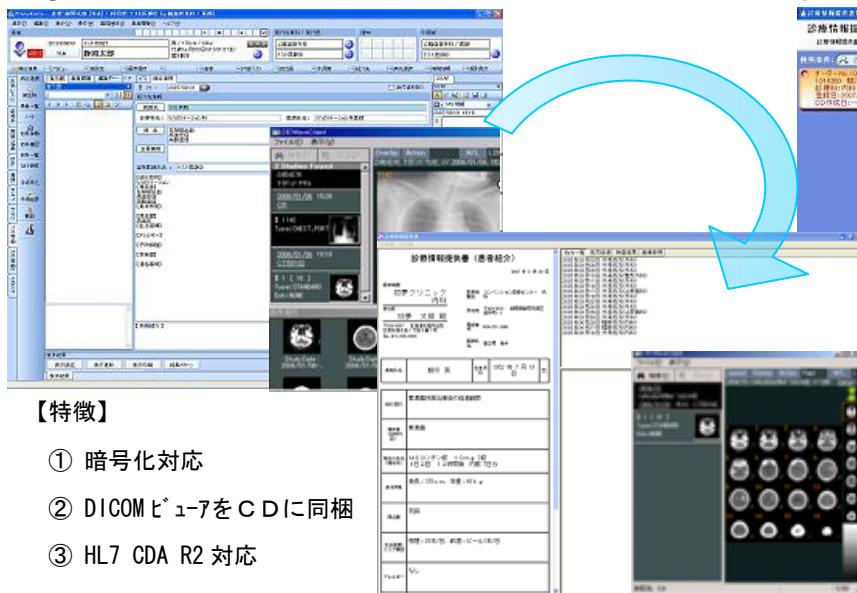
PrimeOrder イメージ図



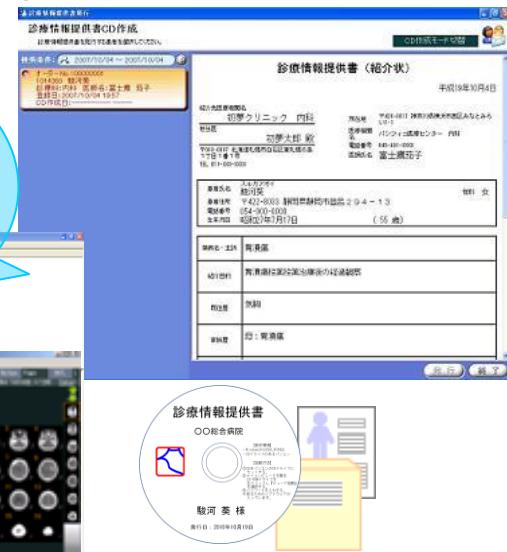
医療プロセスの標準化・再設計を通して業務の効率化を実現

【紹介状CD発行・参照画面イメージ】

①紹介状CD編集画面（診察室等）



②紹介状CD作成画面（病診連携室等）



③紹介状CD参照画面

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- マスター／コード体系：標準医薬品マスター（HOT コード）、標準病名マスター（ICD10）、標準手術・処置マスター（MEDIS-DC）、臨床検査項目分類コード（JLAC10）、JJ1017 画像検査コード Ver3 を利用可能（全て標準で提供）
- データ交換規約：HL7 (Ver2.5)／患者基本(ADT)、投薬系(OMP)、検査系(OML)、放射線(OMG)、各システムと連携に利用可能。HL7 CDA R2（紹介状システムにて採用・実装）
- データ交換手法：TCP/IP ソケット、XML ファイルに対応
- IHE-J コネクタソン実装：Order Placer, Image Display
- 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合済み

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

【サーバ構成】

UNIX(R) または Linux(R) または Windows Server 2003(R) 日本語版以降

【クライアント構成】

Pentium(R) 以上の Intel(R) プロセッサ (Core2 Duo 以上を推奨)

Windows(R) XP SP2 日本語版以降

1GB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)、ディスプレイ解像度 SXGA 以上を推奨

7) 稼動までに必要な作業・期間：

病院担当者様及び部門システムベンダ様との打合せ（仕様の確定まで）・3~6ヶ月程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

200 万円～（パッケージ価格）+ SES（カスタマイズ費・機器費・交通費除く）+ 連携費 （※税別）

9) 保守の内容と費用：

初期講習：医師向け及び看護師向け講習会開催

初期導入保守：稼動及び運用開始立会い

遠隔保守：ルータ及び遠隔監視ソフトによるリモートメンテナンス（電話回線費用は別途）

通常保守：月額 10~50 万円（導入オーダ種数による）……サーバの定期監視、障害発生時訪問。

（ハード保守費除く） （※税別）

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

問合せ先：株式会社 SBS 情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 3-1-1

TEL：054-283-1450；FAX：054-284-9182

医療事業本部 営業担当

Mail : iryo@sbs-infosys.co.jp